

就活短期化にも！～11人のキャリア支援相談員が常駐～ 1人40分「全員面談」と「武蔵しごと塾」 多様化する就活に個別&ゼミ形式で対応

武蔵大学(東京都練馬区/学長 山崎哲哉)は、学生一人ひとりの夢を実現するために、4年間を通じたキャリア教育・就職支援を行っています。なかでも、3年生を対象とした、キャリアコンサルタント有資格者など経験豊富な職員との「全員面談」や卒業生による「武蔵しごと塾」は、人気の高い実践的な就職支援プログラムです。

ほかにも学生同士が刺激しあうことで自主的に進路選択・決定ができる少人数でのワークショップや、先輩や卒業生との繋がりを活用したプログラムなど、小規模大学の強みを生かした取り組みで、学生をサポートしています。

3年生向け(9月実施)

全員面談

就職活動が本格化する時期に、3年生全員と個別面談を実施します。1回の面談時間は40分。キャリアコンサルタント有資格者など経験豊富な職員が希望する進路や不安なことを聞き取り、どのように就職活動を進めていくのか、それぞれの学生に応じたアドバイスをします。全員面談後も、個別面談は内定まで何度でも利用でき、1人あたり平均5～6回利用。毎回異なる職員との面談はもちろん、同じ職員を指名して面談予約をすることも可能なため、多方向からのアドバイスのほか、個人に寄り添う継続した指導を受けることができるのも特徴です。



3年生向け(11月・2月実施)

社会で活躍する卒業生による就職支援プログラム「武蔵しごと塾」。卒業生から、さまざまな業種の仕事内容やこれまでの経験、就職活動をする上でのポイントなどを聞くことで、学生の就業観を高め、就職活動に向けた実践的な力を身につけることを目的とします。

武蔵しごと塾 Phase 1

11月講座：課題発見とネクストアクション

若手の卒業生も含めたゼミ形式でのディスカッションや、模擬面接などの就職活動体験を通して、自分に足りないものを知り、克服するための方法を考えます。さらに卒業生との交流は、自己の将来像を具体的に描く助けになります。



武蔵しごと塾 Phase 2

2月講座：内定力強化講座(面接体験講座)

中堅世代の卒業生による本番さながらの面接指導や、エントリーシートの書き方指導を実施。徹底した個人指導で、学生の問題点を見出し、その場で改善につなげることで、就職活動における自己表現力を更に伸ばします。



上記のほかにも、「キックオフミニセミナー」(3年生・7月実施)、「グループディスカッション・面接対策講座」(3年生・1月実施)など、武蔵の強みである「ゼミ形式」をキャリア支援に取り入れています。

■武蔵大学 [アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分] ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

東武鉄道や東京地下鉄(現東京メトロ)など多くの鉄道事業に携わり、政財界で活躍した根津嘉一郎(初代、1860～1940)が、1922(大正11)年に「武蔵大学」の前身である旧制七年制武蔵高等学校を創立。その後の学制改革により、1949(昭和24)年4月武蔵大学(経済学部経済学科)開設。現在は、経済学部(経済学科/経営学科/金融学科)、人文学部(英語英米文化学科/ヨーロッパ文化学科/日本・東アジア文化学科)、社会学部(社会学科/メディア社会学科)の3学部8学科からなる文系総合大学。学長 山崎哲哉

—本件に関するお問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当:山野・下川

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1 TEL03-5984-3813 FAX03-5984-3727

E-mail: pubg-r@mml.sec.musashi.ac.jp